

注目の杭州湾南岸エリア～浙江省杭州湾上虞開発区～

岡山県上海事務所 小林和暁

(日中経済貿易センター上海事務所 副所長)

上虞市の概要

浙江省上虞（じょうぐ）市は紹興市に属する県級市で、杭州湾南岸、浙江省省都の杭州市と国際港を有する寧波市の間位置します。同市の面積は1,403km²、人口は78万人で、主要産業は精密加工、照明器具、自動車部品、機械設備、バイオ医薬、アパレル等です。

日系企業では、伊藤忠商事(株)、川崎重工業(株)、パナソニック(株)等43社がすべて合併の形で事業を行っています。

浙江省杭州湾上虞開発区は、同市北部、浙江湾の南岸に設置されています。同区は1998年から建設が開始され、総計画面積は275km²、目下30km²の建設が完了しています。既開発地域では機械設備、家電、自動車製造等の産業が発展しています。

交通網の飛躍的發展

2013年7月、同市の交通網が大きく改善されました。1日には杭州～寧波間の高速度鉄道が開通、上虞北駅から上海虹橋駅まで約1時間30分、杭州東駅までわずか20分弱で結ばれるようになりました。また、9日には杭州湾北岸の嘉興（かこう）市と上虞市を結ぶ杭州湾嘉紹跨江（ここう）大橋が開通、上海市から上虞市の自動車での移動はそれまでの約3時間から一気に約2時間に、同大橋の南詰に位置する浙江省杭州湾上虞開発区へは約1時間30分に短縮されました。

この他、杭州蕭山（しょうざん）国際空港まで車で約40分（東京、大阪へ直行便あり）、海運の拠点である寧波港まで約90分で到着でき、交通の便に大変恵まれた地域になりました。

日系中小企業の誘致

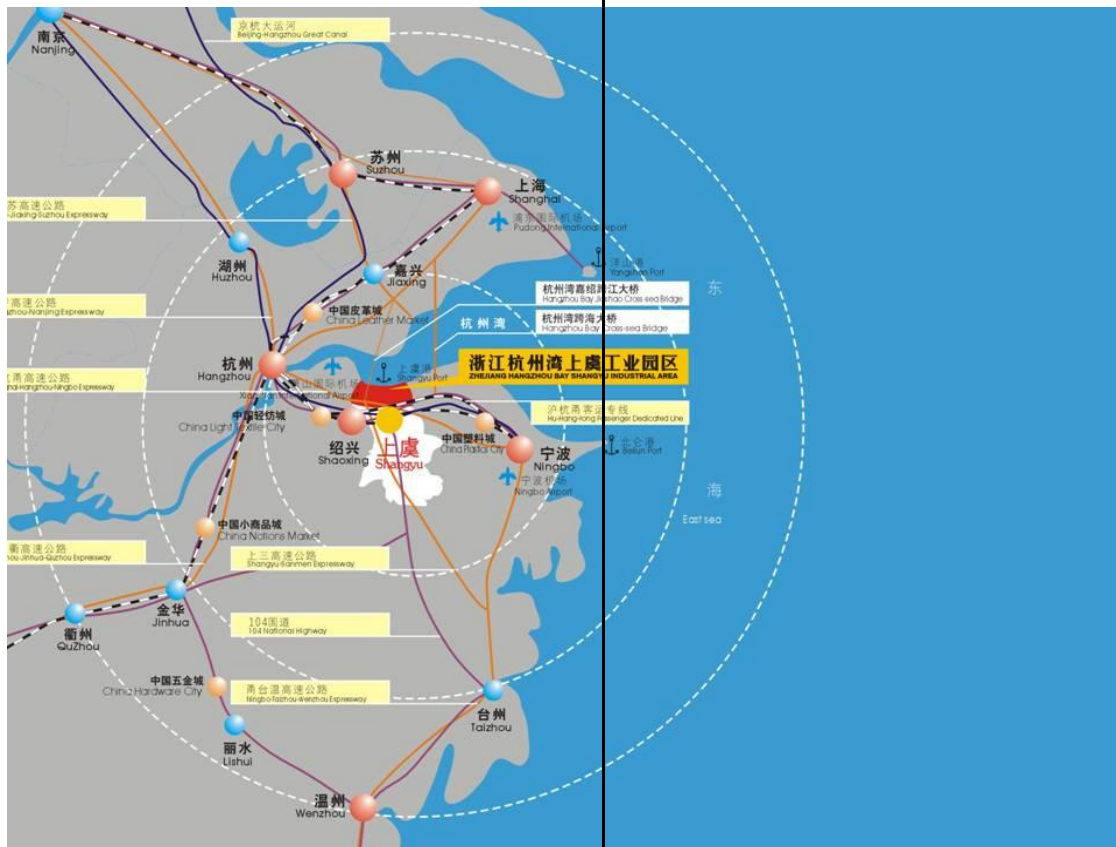
杭州湾嘉紹跨江大橋と高速鉄道の開通を機に、上虞市及び浙江省杭州湾上虞開発区では日系中小企業の誘致に力を入れています。同区内に2013年中にオープン予定の「紹興上虞日本工業園」には中小企業のニーズに合う1,000m²級、2,000m²級、3,000m²級のレンタル工場を建設、安価な工場レンタル価格や人件費、大幅に改善された交通網、上海への近さが注目されています。

同時に、日本人顧問や日本語の分かるスタッフを大幅に拡充、また管理センターによる各種サービスの拡充を計画する等、中国の地方都市でありがちな投資障壁を大幅に引き下げることを目指しています。

良好な水質

この他、上虞市のトピックスとして全市に供給される高品質な水の存在があります。同市南部の山間部に位置する「小舜江（しょうしゅんこう）ダム」は、水源地周辺32km²を保護区として一般人の立入を禁止し良好な水質を維持、EU水質基準一級相当の水質の高さに注目したフランスのエビアン関係者も視察に訪れました。

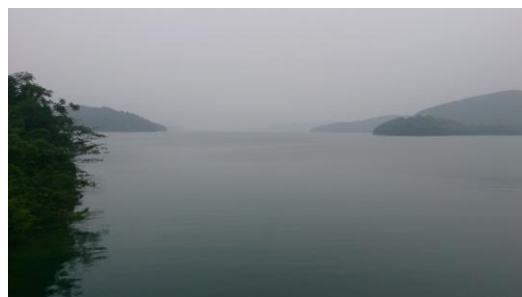
これまで交通の便の悪さからスポットライトが当たらなかった杭州湾南岸エリアは、今後、江蘇省太湖周辺や南通市に続く有力投資地として、更に注目を集めるものと思われます。



上虞市位置図



浙江省杭州湾上虞開発区の開発中のエリア



上虞市に高品質な水を供給する小舜江ダム湖



7月9日に開通した杭州湾嘉紹跨江大橋

(2013年7月)